

くるりんバス運行ルート見直し 検討について

立川市産業まちづくり部地域公共交通担当課

1. 前回の振り返り

ルート見直しの前提条件・目的と見直し目標(赤字:前回からの修正箇所)

前提:地域公共交通の「持続可能性の確保」

- ・運行経費の増加や運転手不足から、コミュニティバスの増台は不可能

≪前提条件≫ 運行見直しにあたっては、ルートの効率化が必要

ルート見直しの目的①:交通不便地域の「利便性の維持・向上」

- ・西砂・一番町地域の満足度が低い。また、西砂ルートは錦ルートに比べ、運行距離が長いため、所要時間・ダイヤ間隔・終バス時間(1本前)等の項目で差がみられる

≪検証課題①≫ 西砂・一番町地域は、現在の需要とサービスが適合していない可能性がある。

ルート見直しの目的②:路線バスが減便された交通不便地域の「エリア補完」

- ・路線バスの減便が発生し、空白となったエリアが生じたため、地域住民から不便解消を望む声があがっている

≪検証課題②≫ コミュニティバスでの補完が必要なエリアが新たに生まれている可能性がある。

見直し目標

利用人数に応じて効率的に運行するルート



主要な利用者の多くがサービス維持・向上を感じるルート



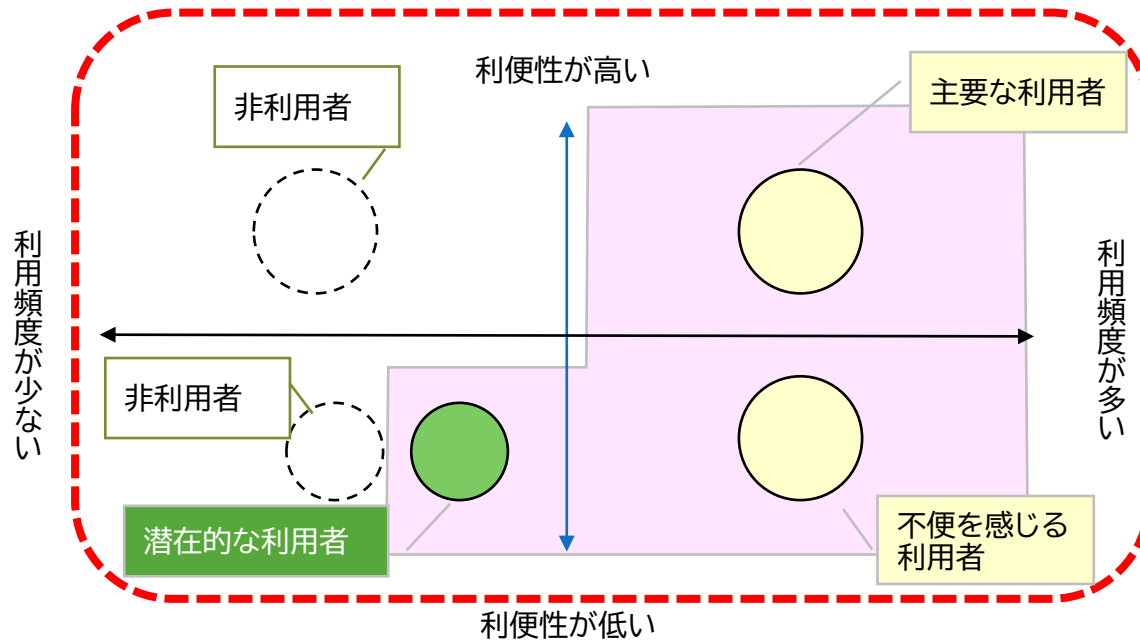
路線バス減便エリアの補完ができるルート

需要(利用)の多さでメリハリをつけてルート・ダイヤを見直し

調査ターゲットと調査目的

調査ターゲット

主な調査対象: 運行地域の住民・利用者



調査目的

運行地域の住民を対象に調査

利用者を対象に調査

1) 利用実態と地域住民の満足度要因の把握【資料2-2】

2) 需要規模が少ない地域の把握【資料2-2】

1) 利用客の満足度要因の把握【資料2-2】

2) 各停留所の需要規模の把握(利用者数)【前回 + 資料2-2】

2. ルート見直しの検討項目

ルート見直しの検討項目

運行計画作成に必要な項目を検討する

• 見直す項目

1. ルート

- ① 需要の確認(需要の多いエリア、それ以外のエリア)【今回】
- ② 走行可能路線の確認(車道幅員、交通規制、信号、右左折、停車可能場所)

2. ダイヤ(運行時間帯、本数)

- ① 需要の確認(需要の多い時間帯、それ以外の時間帯)【今回】
- ② 交通事業者の確認(交通事業者意見)

3. 停留所

- ① 需要の確認(既存のバス停を前提、新停留所をルート案と合わせて検討)
- ② 設置可能箇所の確認(交通規制、道路占用、道路管理者、土地所有者等の了解)

4. 運賃設定(運賃の考え方)

- ① 利用人数の確認(利用人数目標)
- ② 収支見込の確認(運行経費見込み)

• 見直さない項目

1. 運行形態

- ① 定時定路線型コミュニティバス

2. 運行車両(運転手数)

- ① 5台

3. ルートを見直す方法 (新ルート見直し方針)

見直し目標と新ルート見直し方針(赤字前回からの修正箇所)

3ページ再掲

前提:地域公共交通の「持続可能性の確保」

ルート見直しの目的①:「利便性の維持・向上」

ルート見直しの目的②:「エリア補完」

見直し目標

利用人数に応じて効率的に
運行するルート



主要な利用者の多くがサービス維
持・向上を感じるルート



路線バス減便エリアの補
完ができるルート

需要(利用)の多さでメリハリをつけてルート・ダイヤを見直し

調査分析・検証(資料2)

新ルート見直し方針

需要の多いエリア

- 目的地への速達性を高めるため、高頻度のショートコースを設ける

需要の少ないエリア

- 減便エリアを補完するために、頻度の少ないロングコースを設ける

ルート・ダイヤの効率化

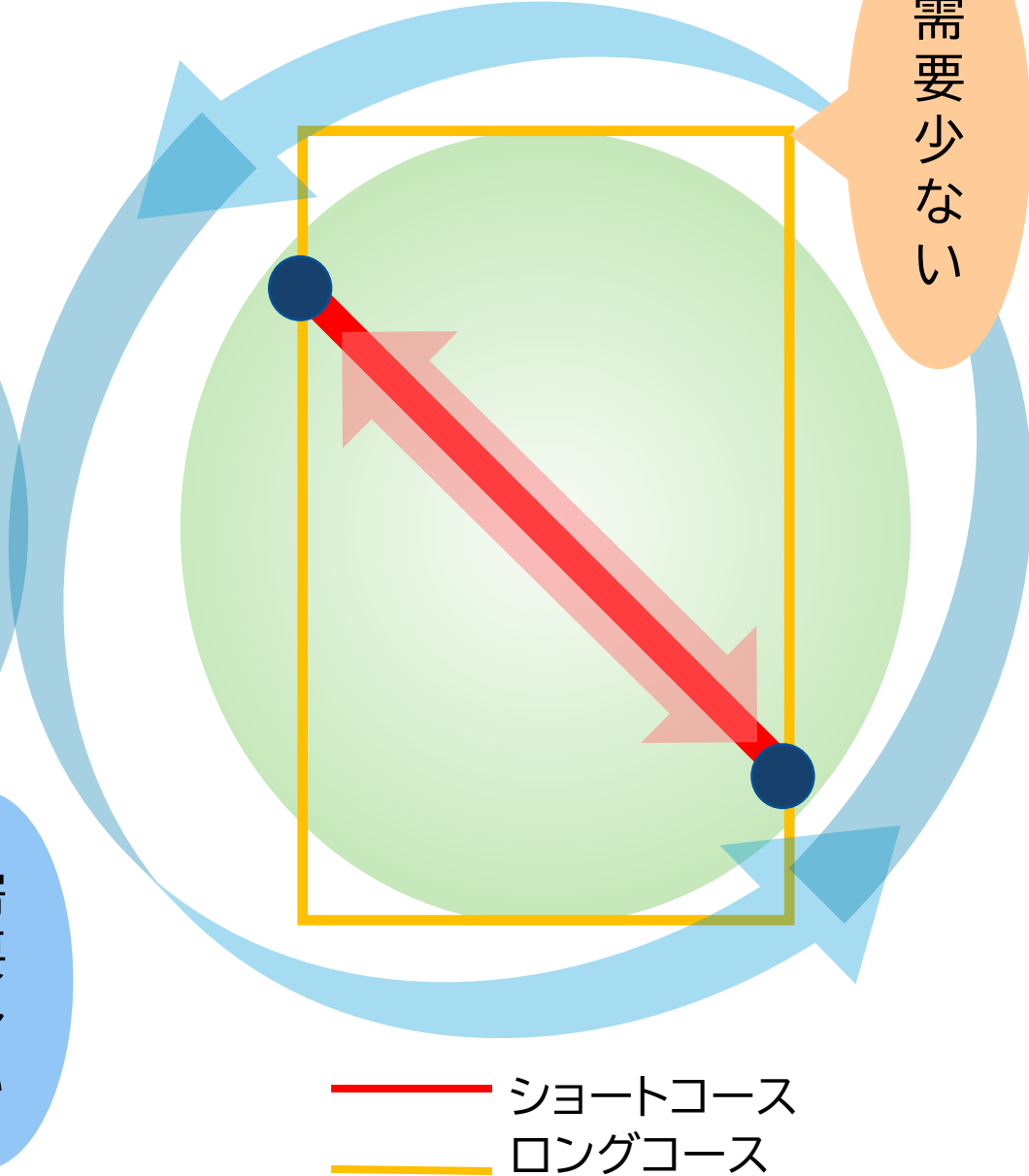
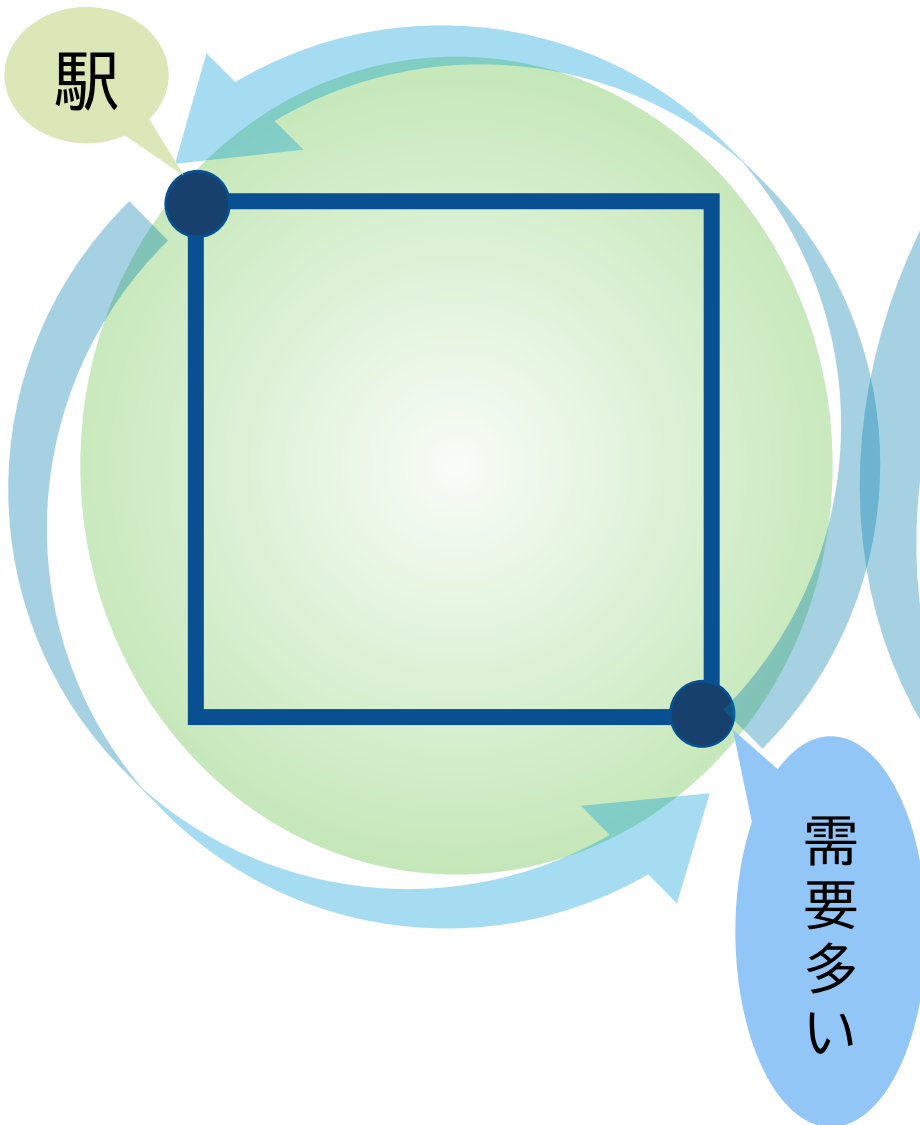
- 利用者の少ない時間帯の便や停留所を効率化し、利用者の多い時間帯、停留所に編成することで持続可能なルートを目指す

西砂・錦ルートをショートコース、ロングコースの2系統(計4系統)に再編する

ショートコースとロングコースのイメージ

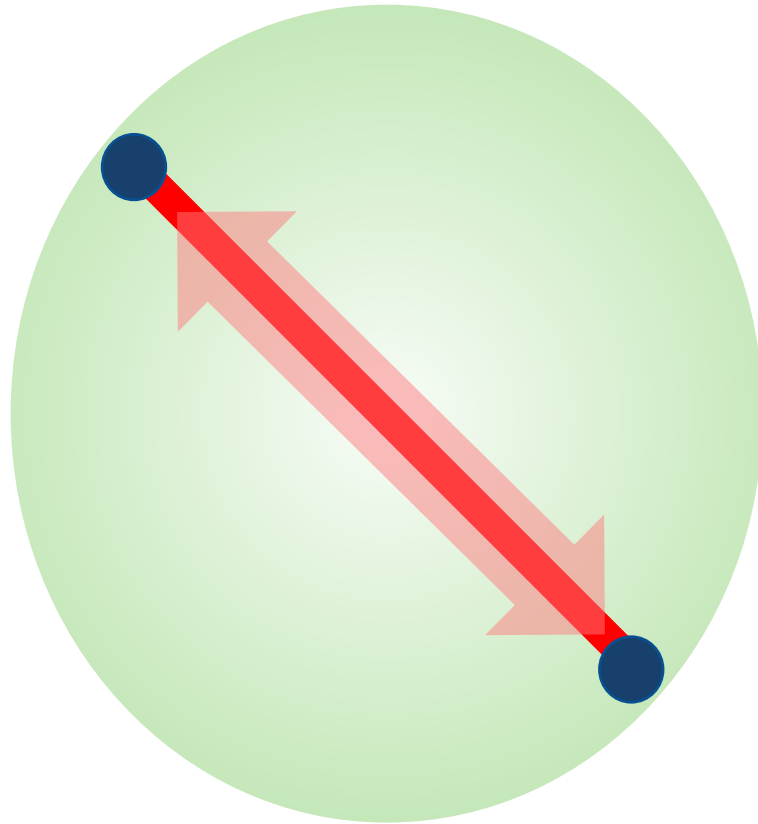
今までのルート

ショートコースとロングコースの2系統

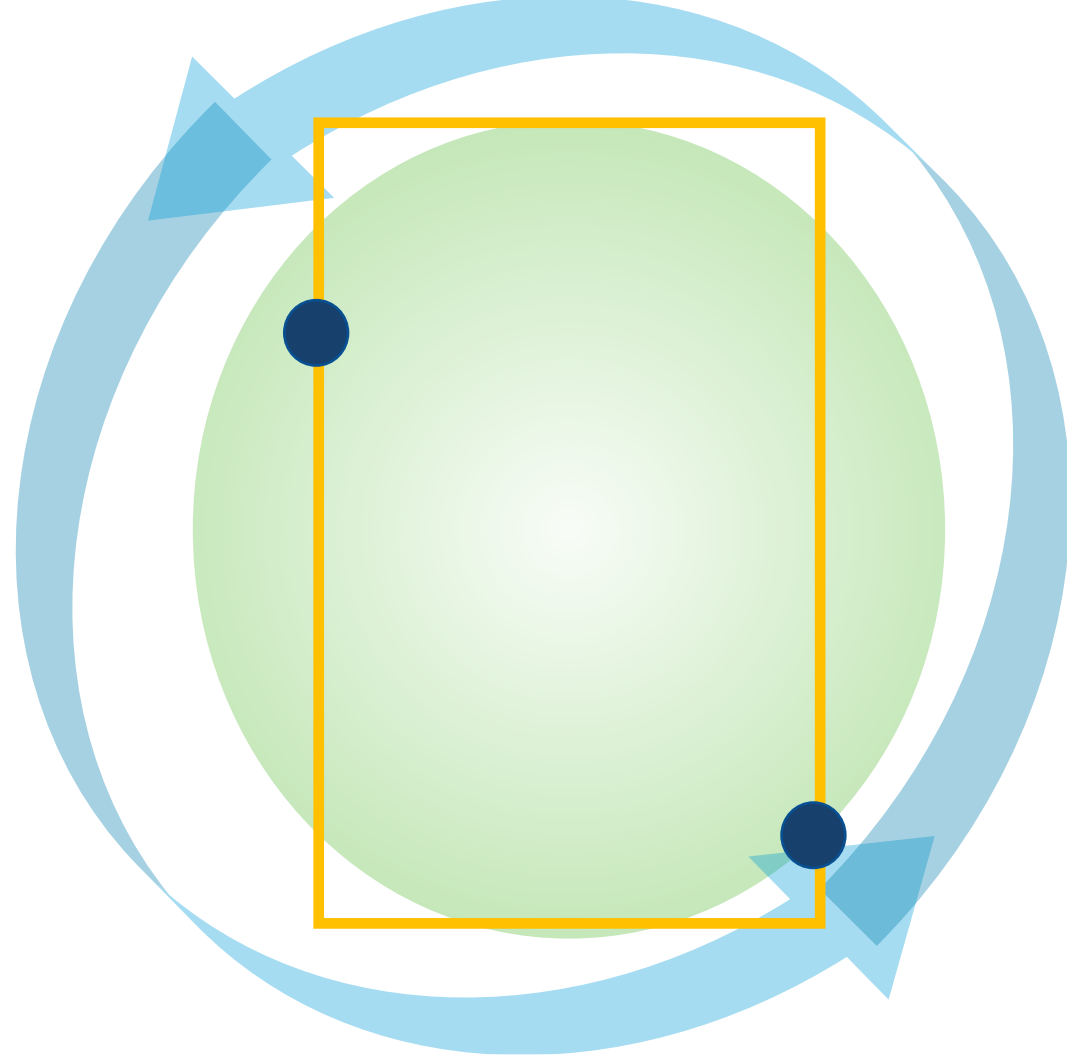


ショートコースとロングコースのメリット・デメリット

ショートコース



ロングコース



メリット	運行距離(ダイヤ間隔)が短くなる	経由地(バス停)が多くなる
デメリット	経由地(バス停)が少なくなる	運行距離(ダイヤ間隔)が長くなる
ルート	拠点(駅)と需要の多い地域	需要の少ない地域を補完する

ショートコースとロングコースの関係

ショートコース

ショートコースを増やすと
(ロングコースを少なくすると)

需要の多い
地域にくるバ
スは多く、定
時的にくる

需要の少な
い地域にくる
バスは少なく、
定時的には
来にくくなる



ロングコース

ロングコースを増やすと
(ショートコースを減らすと)

需要の多い
地域にくるバ
スが減り、定
時的には来
にくくなる

需要の少な
い地域にく
るバスの本
数が多くな
る(急行便よ
りは少ない)

